日本マンガ史Ⅰ

科目ナンバリング　ARL-205
選択　　2単位

萩原　由加里

1. 授業の概要（ねらい）

日本のマンガの起源をめぐっては、絵巻物に始まるとされる説と、幕末に始まるとされる説があります。2つの節について取り上げていくことで、終戦時までの日本マンガの歴史をたどっていきます。

2. 授業の到達目標

1、マンガの起源を知ることで、現代の日本マンガがなぜこのような形になったのかを考える能力を身につける。
2、日本マンガの起源を巡る議論を知ることで、文化的・政治的な事情によってによってルーツが変化していく理由を理解する能力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

試験60%、平常点（小レポート）40%

4. 教科書・参考文献

教科書
教科書：なし
参考文献
清水勲　『年表日本漫画史』（2007）　臨川書店

5. 準備学修の内容

毎回の授業で、次回に取り上げる時代とテーマを紹介するので、その時代の社会的・政治的な出来事を図書館やネットを使って調べ、時代背景を把握したうえで授業に臨むこと。

6. その他履修上の注意事項

積極的な質問を期待します。

7. 授業内容

【第1回】　マンガとは何か?
【第2回】　マンガ前史1　―『鳥獣人物戯画』
【第3回】　マンガ前史2　―『信貴山縁起絵巻』
【第4回】　コマとは何か?
【第5回】　マンガ前史3　―『北斎漫画』
【第6回】　諷刺画とは何か?
【第7回】　北澤楽天の登場
【第8回】　楽天の弟子たち
【第9回】　絵物語とマンガ
【第10回】　コマの変遷
【第11回】　田河水泡『のらくろ』
【第12回】　大城のぼるとストーリーマンガ
【第13回】　手塚治虫のデビュー
【第14回】　戦時下のマンガ
【第15回】　漫画からマンガへ